

平成29年度 岡山県総合教育センター 生徒指導・教育相談研修講座の御案内

〈受講対象の見方〉

幼（幼稚園）、こ（認定こども園）、保（保育所）、小（小学校）、中（中学校及び中等教育学校前期課程）
高（高等学校及び中等教育学校後期課程）、特（特別支援学校）

いじめ・不登校への向き合い方を考えましょう

いじめや不登校の問題にどのように対応すればよいのか悩んでいませんか？解決のヒントになる5つの講座を紹介します。

8月4日（金）

講座番号：C293481

受講対象：小、中、高、特

新たな不登校・長期欠席を生まない研修講座 （実践生徒指導）

新たな不登校を生まないために、教師にできることは何か。不登校への理解とカウンセリングの手法を生かした具体的な関わり方を、実践を交えて学んでいきます。

◇講義・演習「不登校の未然防止と早期対応（仮題）」
鹿児島大学 教授 大坪 治彦 先生

【講師紹介】

鹿児島大学 教育学部副学部長。専門は教育心理学、認知心理学、学校臨床心理学で、学校不登校児への臨床援助に関する研究や開発的カウンセリングに関する研究を行っている。多くの著書や論文を発表している。



〈平成28年度 受講者の声〉

「現在、学校で起きていることに繋げられそうな講義や演習で、大変参考になりました。」

※全てのキャリアステージを対象としています。

8月7日（月）

講座番号：C293485

受講対象：小、中、高、特

いじめの未然防止を考える研修講座（実践生徒指導）

進化するネット社会の中で、子どもを守っていくにはどうすればよいのか。多くの事例や実践発表を通じて、いじめやネットいじめについて考えます。

◇午前：講義「いじめの現状、早期発見と対応のポイント（仮題）」
神戸親和女子大学 教授 金山 健一 先生

【講師紹介】

公立中学校教諭、県立広島大学総合教育センター准教授を経て、現職。学校心理士・臨床心理士・博士（心理学）。専門は学校心理学・臨床心理学。「モグラ叩きの生徒指導」から「予防的・開発的な生徒指導」への転換を提案、講演・研修では「明日からすぐ使える実践的な生徒指導の技」を提供している。

◇午後：実践発表「児童・生徒主体の取組の紹介（仮題）」
備前市立日生西小学校

講義・演習「いじめを未然に防止するための取組」



※全てのキャリアステージを対象としています。

8月22日(火)

講座番号：C293482

受講対象：小、中、高、特

不登校・長期欠席からの再登校に向けた支援を考える 研修講座(実践生徒指導)

不登校・長期欠席からの再登校に向けた具体的な支援の在り方や子どもへの関わり方、ケース会議の進め方を、演習や協議を通じて分かりやすく学びます。

◇講義「不登校・長期欠席からの再登校に向けた支援を考える(仮題)」
福岡教育大学 教授 西山 久子 先生

【講師紹介】

私立高等学校専任スクールカウンセラー等を経て現職。実践研究領域は、教育相談、校内体制づくりやリーダーシップ、キャリア教育。「やってみよう!ピア・サポート ひと目でポイントがわかるピア・サポート実践集」など著書多数。

◇午後：説明「おかやま希望学園で学ぶ子どもたち」

講義・協議「インシデントプロセス法によるケース会議の進め方」

※全てのキャリアステージを対象としています。



11月13日(月)

講座番号：C293487

サテライト講座

受講対象：小、中、高、特

学び合う授業づくりで児童生徒の育ちを支える研修講座 (実践生徒指導)

岡山市立西大寺中学校の公開授業研究会に参加します。

研修会場：岡山市立西大寺中学校

※全てのキャリアステージを対象としています。

学び合いのある授業づくりを通して、授業における児童生徒同士の間関係づくりについて学びます。協同学習の授業や研究協議の参観も行います。

11月14日(火)

講座番号：C293486

受講対象：小、中、高、特

子どもの学校適応感を高める集団づくり研修講座 (実践生徒指導)

すべての子どもが、自分らしく、いきいきと過ごせる「だれもが行きたくなる学校」を実現するために必要な理論と実践を、具体的な事例を通して学びます。

◇講義「だれもが行きたくなる学校づくり(仮題)」

広島大学大学院 教授

公益社団法人 学校教育開発研究所 代表理事 栗原 慎二 先生

【講師紹介】

埼玉県の公立高等学校において、18年の教諭経験を経て、2003年より現職。日本学校教育相談学会会長、日本ピア・サポート学会常任理事を歴任。専門は、生徒指導、教育相談、カウンセリング。総社市の「だれもが行きたくなる学校づくり」のコーディネーターを務めるなど、全国各地で活躍中。「アセスの使い方・活かし方」「いじめ防止6時間プログラム」など著書多数。

◇午後：実践発表「学校適応感を高める集団づくりの実際(仮題)」

浅口市立寄島小学校、浅口市立寄島中学校



<平成28年度 受講者の声>

「現在抱えている問題に当てはまる内容で、早速自校でも実践してみようと思います」

※全てのキャリアステージを対象としています。

子どもの内面理解に基づいた生徒指導を考えましょう

生徒指導・教育相談の基礎的な知識・技能を身に付け、子どもの内面理解に基づいた支援の充実を図ります。

5月19日(金)

講座番号：C293421

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

子どもの心の扉を開く教師のコミュニケーション力向上研修講座(基礎)

子どもが「信頼できる先生だな」と感じるためには、教師は何に気を付ければよいのでしょうか？この講座では、コミュニケーションのコツや注意点を、演習を交えて楽しく学びます。

◇午前：講義・演習

「様々な場面で活用できるコミュニケーションスキル」

◇午後：演習・協議

「コミュニケーション演習」



<平成28年度 受講者の声>

「コミュニケーションは言葉だけで行うのではないということが分かりました。様々なコミュニケーションスキルを使用して、子どもとの関係を深めていきたいです。」

「未来の解決像について聴くタイムマシクエスションの活用を考える中で、少しずつ問題を解決していくことの重要性が分かりました。」

※キャリアステージでは若手を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

6月22日(木)

講座番号：C293442

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

子どもの内面理解に基づいた校内支援体制づくり研修講座 (生徒指導体制パワーアップ)

子どもの内面・環境理解に基づいた生徒指導・教育相談を行うための具体的な取組や対応について学び、生徒指導に関わる校内体制づくりに生かしましょう。

◇午前：講義「問題行動を起こす子どもの内面・環境理解と対応」
長野総合法律事務所 弁護士 峯本 耕治 先生

【講師紹介】

1990年大阪弁護士会登録。一般の弁護士業務とともに、学校教育、児童虐待（児童福祉）、少年司法等の子どもの権利を巡る諸問題についての活動を開始。現在、NPO法人TPC教育サポートセンター等の代表。各地教育委員会のSSW事業でスーパーバイザーとしても活躍中。「子ども虐待と貧困～『忘れられた子ども』のいない社会をめざして」など著書多数。



<平成28年度 受講者の声>

「問題行動の背景にあるものを考えながら、支援の手だてを考えていくことが大切だと分かりました。」

「これからは、『大事に思っている』ことをストレートに、言葉で伝えていこうと思いました。」

◇午後：演習・協議「子どもの実態把握に基づく事例検討の進め方（仮題）」

※キャリアステージでは中堅後半を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

8月9日(水)

講座番号：C293483

受講対象：小、中、高、特

愛着の視点から子どもへの適切な支援を考える研修講座 (実践生徒指導)

愛着障害の視点を生かした子どもへの適切な支援を考えましょう。

◇講義・演習

「愛着障害の理解と愛着の問題を抱える子どもへの支援
—『愛情の器』モデルに基づく支援の実際—」
和歌山大学 教授 米澤 好史 先生

【講師紹介】

臨床発達心理士スーパーバイザー・学校心理士スーパーバイザー・上級教育
カウンセラー・ガイダンスカウンセラー。専門は、臨床発達心理学・実践教育
心理学。著書に「『愛情の器』モデルに基づく愛着修復プログラム」など。

発達障害として対応・
支援をしてきたけど、
「何か違うのでは!？」と
いう疑問にお答えしま
す。



昨年度までは、発達障害の特性理解に基づいて学校や学級（HR）で不適応を起こしている
子どもへの関わりを考える研修講座でした。

今年度は、新しい視点として、「愛着障害」を取り入れました。「愛着障害」の研究の第
一人者である和歌山大学の米澤先生からその理論とご自身の豊富な臨床経験に基づく、「愛
情の器」モデルによる子どもへの支援について講義・演習していただきます。

(研修講座担当者)

※全てのキャリアステージを対象としています。

10月6日(金)

講座番号：C293433

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

子どもの育ちを支える学校教育相談研修講座(課題別)

子どもの育ちを支えるための教育相談とは？ 学校における教育相談について理解を
深め、演習等を通して、教師として必要な生徒指導・教育相談についての幅広い知識や
技能を身に付けましょう。

◇午前：講義「生徒指導に生かす学校教育相談(仮題)」 神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男 先生

【講師紹介】

東京都において中学校教諭、教頭、校長、指導主事の経験を経て、
2012年より現職。前日本学校教育相談学会会長。「生徒指導の危機
管理」「入門学校教育相談」「子どものハートに届くほめる・しかる
55の原則」をはじめ著書多数。



<平成28年度 受講者の声>

「まず心理的事実を受容し、その後、客観的事実を伝えることの大切さがよく分かりました。」

「保護者対応の際の伝え方について考えることができました。」

「分かりやすく現実的ですぐに活用できそうなことが多く、大変良かったです。」

◇午後：演習・協議(課題別グループ研修) <次のA、Bから希望の課題を選んで受講> A「ブリーフセラピーを生かした教育相談の進め方」 B「保護者とのよりよい関係づくり」

※キャリアステージでは中堅前半を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

子どもが輝く学級(HR)集団をつくりましょう

子どもがしっかりとつながり、学び合い、育ち合う学級(HR)集団をつくるには？そのヒントになる講座を紹介します。

6月23日(金) 講座番号：C293431

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

子ども同士が支え合う関係づくり研修講座(課題別)

仲間(ピア)が互いに思いやり、助け合い、支え合う人間関係を育むための手法について学びましょう。

◇午前：講義「ピア・サポート活動による支え合う関係づくり(仮題)」
兵庫教育大学 特任教授 池島 徳大 先生

【講師紹介】

奈良県の公立学校に勤務後、奈良県教育研究所学校経営係長、国立教育会館学校教育研修所(現教員研修センター)主任研修指導主事、奈良教育大学教授を経て、2017年より現職。日本ピア・サポート学会会長、日本学校教育相談学会中央研修委員等の要職も歴任し、生徒指導、臨床心理学の分野で活躍中。



<平成28年度 受講者の声>

「子どもの話をしっかり聴き、肯定的な部分を見つけたいこうと思いました。」
「集団で起こる様々な問題を、子ども同士で解決できるような力を身に付けさせていくことが大切だと分かりました。」

◇午後：演習・協議(課題別グループ研修)《次のA～Cから希望の課題を選んで受講》
A「励まし合い支え合う仲間づくり(ピア・サポート)」
B「社会性を育てるための支援(ソーシャルスキル教育、社会性と情動の学習等)」
C「グループエンカウンターを活用した集団づくりの進め方」

※キャリアステージでは中堅前半を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

6月27日(火) 講座番号：C293422

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

子ども同士の人間関係づくり研修講座(基礎)

子どもの成長には、互いに共感し、互いの良さを認めて関わり合う体験が大切です。グループエンカウンター等を活用した良好な人間関係づくりの方法や、問題行動等の未然防止の取組など、演習を交えて楽しく学びます。

◇午前：講義
「児童生徒相互の人間関係づくりの意義と方法」
◇午後：演習・協議
「人間関係づくりの実際」



<平成28年度 受講者の声>

「午前の講義内容を午後の演習ですぐ体験でき、実際の活用法も分かって良かったです。」
「自分自身も、演習で『グループの役に立ててうれしい』と実感できました。子どもたちにもそのような場をつくっていかうと思います。」

※キャリアステージでは若手を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

7月31日(月)

講座番号：C293423

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

学級(HR)づくり等に活用できるアセス等を用いた 児童生徒理解研修講座(基礎)

子ども同士が安心して心の交流ができる学級(HR)にするために、どんな手だてが考えられますか?よりよい学級(HR)集団づくりができるように、集団アセスメントツール(アセス等)の活用方法について学びます。

◇午前：講義・演習

「児童生徒理解に基づく学級(HR)づくり」

◇午後：演習・協議

「アセス等を用いた児童生徒理解と学級(HR)づくり」



<平成28年度 受講者の声>

「アセスの結果を分析することによって、一人一人の子どもに合った支援ができるだけでなく、教員の共通理解が図れると思いました。」

※キャリアステージでは若手を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

8月3日(木)

講座番号：C293432

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

Q-U等を活用した学級(HR)集団づくり研修講座(課題別)

集団の成熟を促し、いこちのよい学級(HR)集団をつくるには?自分の学級(HR)経営スタイルやQ-Uを用いた学級(HR)集団理解の方法を知って、学級(HR)経営力を高めましょう。

◇午前：講義「集団や個のアセスメントに基づく
学級(HR)集団づくり(仮題)」
奈良教育大学 教授 粕谷 貴志 先生



【講師紹介】

岩手県の公立小中学校に勤務後、専修大学や都留文科大学の講師等を経て、2007年より現職。学級アセスメントツール「Q-U」の普及と活用の第一人者として幅広く活躍中。

<平成28年度 受講者の声>

「Q-Uの結果に日頃の児童生徒理解を重ねて考えることが大切であること、組織で支援を考えていくことが必要であることを学びました。」

◇午後：演習・協議(課題別グループ研修)《次のA~Dから希望の課題を選んで受講》

A「Q-U分析と対応を考えるケース会議の行い方」

B「社会性を育てるための支援(ソーシャルスキル教育、社会性と情動の学習等)」

C「グループエンカウンターを活用した集団づくりの進め方」

D「励まし合い支え合う仲間づくり(ピア・サポート)」

※キャリアステージでは中堅前半を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

11月13日(月)

講座番号：C293487

サテライト講座

受講対象：小、中、高、特

学び合う授業づくりで児童生徒の育ちを支える研修講座 (実践生徒指導)

岡山市立西大寺中学校の公開授業研究会に参加します。

研修会場：岡山市立西大寺中学校

※全てのキャリアステージを対象としています。

学び合いのある授業づくりを通して、授業における児童生徒同士の人間関係づくりについて学びます。協同学習の授業や研究協議の参観も行います。

チームカアッで効果的な指導につなげましょう

職場が「チーム」として機能していますか？仲間と共に組織として効果的に動ける集団になるヒント満載の講座です。

8月8日(火)

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

講座番号：C293441

チームで生徒指導に取り組むための体制づくり研修講座(生徒指導体制パワーアップ)

生徒指導・教育相談の機能的な校内体制づくりを行うための取組や対応について考えましょう。

◇午前：講義「協働的生徒指導体制の構築に向けて
—ミドルリーダーに求められる役割
を中心に—(仮題)」

関西外国語大学 教授 新井 肇 先生

◇午後：実践発表 「校内体制づくり」

津山市立中道中学校

演習・協議「校内体制づくりの進め方」

<平成28年度 受講者の声>

「全員が同じように同じ仕事をするというのではなく、同じ問題意識をもって、目標を掲げ、取り組むことが大切であると感じました。」

※キャリアステージではミドルリーダーを対象していますが、全てのステージの教職員が受講可能です。



関西外国語大学
教授 新井 肇 先生

埼玉県内の公立高等学校教諭、兵庫教育大学大学院教授を経て、2017年より現職。

生徒指導・学校カウンセリングに関する実践的研究に取り組む。中心テーマは、カウンセリングを活かした生徒指導実践、学校内外の連携に基づく協働的生徒指導体制の構築、教師のストレスとメンタルサポート。最新の著書は「『教師を辞めようかな』と思ったら読む本」

当総合教育センター生徒指導部の所員研究においても、平成23年度より継続して指導助言をいただいている。

8月21日(月)

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

講座番号：D293501

教職員が支え合う風土づくり研修講座

教職員間で支え合う学校風土をつくり、よりよい教育活動を展開するために、教職員の「同僚性」を形成する実践力を養いましょう。

◇午前：講義「教職員のメンタルヘルスと同僚性(仮題)」

関西外国語大学 教授 新井 肇 先生

◇午後：演習・協議

「教職員間の人間関係づくり」

<平成28年度 受講者の声>

「同僚性が土台となって、学校内の様々な活動や心の問題等が改善されていくことが分かりました。」

※全てのキャリアステージを対象としています。



6月22日(木)

講座番号：C293442

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

子どもの内面理解に基づいた校内支援体制づくり 研修講座(生徒指導体制パワーアップ)

子どもの内面・環境理解に基づいた生徒指導・教育相談を行うための具体的な取組や対応について学び、生徒指導に関わる校内体制づくりに生かしましょう。



◇午前：講義「問題行動を起こす子どもの内面・環境理解と対応」
長野総合法律事務所 弁護士 峯本 耕治 先生

【講師紹介】

一般の弁護士業務と共に、学校教育、児童虐待(児童福祉)、少年司法等の子どもの権利をめぐる諸問題についての活動に取り組んでいる。NPO法人TPC(教師・親・子どものための)教育サポートセンター代表、大阪府児童虐待事例等点検・検証専門部会委員、大阪府教育委員会SSW事業スーパーバイザー他

◇午後：演習・協議「子どもの実態把握に基づく事例検討の進め方(仮題)」
※キャリアステージでは中堅後半を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

10月27日(金)

講座番号：C293444

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

地域の関係機関等との連携で子どもや家庭への支援を考える 研修講座(生徒指導体制パワーアップ)

学校や地域、関係機関が連携した生徒指導・教育相談を行うために、学校に求められる具体的な取組や対応について考えましょう。

◇午前：講義「学校と関係機関等との行動連携の意義と実際(仮題)」
香川大学 教授 七條 正典 先生

【講師紹介】

国公立小学校教諭、鳴門教育大学助教授、文部科学省初等中等教育局教科調査官を経て、2001年より現職。現在は附属教職支援開発センター長を併任。専門分野は生徒指導及び道德教育。

◇午後：講義 「岡山県におけるスクールソーシャルワーク」
演習・協議「地域の関係機関等と連携した支援の進め方」

※キャリアステージでは中堅後半を対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。

8月10日(木)

講座番号：C293443

受講対象：幼、こ、保、小、中、高、特

知っておきたい生徒指導上の危機対応を考える研修講座 (生徒指導体制パワーアップ)

生徒指導・教育相談における危機対応について理解を深め、具体的な取組や、校内体制づくりについて考えましょう。



◇午前：講義「生徒指導上の諸課題に対する危機対応
～未然防止に向けた組織的対応～」

鳴門教育大学 特任教授
大阪市立大学 名誉教授
大阪樟蔭女子大学元学長・名誉教授 文学博士 森田 洋司 先生

【講師紹介】

いじめ・不登校・学級崩壊などの青少年問題や教育問題を通し、現代社会の病理現象を研究する文学博士。いじめ問題の研究では世界的に活躍し、「いじめ集団の4層構造理論」等独自の視点を確立。教育現場や家庭の子育てに活かせる実践的な理論を展開している。

◇午後：演習・協議「校内連携による組織的な危機対応」

※キャリアステージではミドルリーダーを対象としていますが、全てのステージの教職員が受講可能です。